

「春节 chun jie」(新年)

吉田 想陶

山西省の厳しい寒さも次第に弱まり、過ごしやすい日が増えてきました。今月のレポートでは「春节 chun jie」を中国で過ごし感じたことや、旧暦のお正月の締めくくり「元宵节 yuan xian jie」について報告したいと思います。

■春节の盛り上がりは噂以上

中国の友人から話は聞いていましたが、想像以上の盛り上がりでした。中国では旧暦に基づいて新年を祝うため、旧暦の1月1日(今年は2月10日)が春节であり、前日の夜(2月9日)は至る所で花火や爆竹が鳴り響きました。私は自身の部屋で「春节联欢晚会 chun jie lian huan wan hui」(日本の紅白歌合戦のような番組)を留学生の友人と鑑賞しながら過ごしたのですが、夜中の12時が近づくと花火や爆竹が激しさを増し、室内にいたにも関わらず会話が困難なほどの騒音でした。



(部屋の窓から見えた花火 花火と爆竹の煩さには驚きです)

西暦の1月1日に比べると非常に盛り上がりしており、中国式の新年の祝い方を肌で感じる事が出来ました。

■お正月の締めくくり元宵节

春节の日から数えて15日目は「元宵节 yuan xian jie」（今年は2月25日）と呼ばれる日で、旧暦のお正月の締めくくり、春节の最後を指す日だそうです。元宵節の夜は新年最初の満月の夜で、中国ではとても大切な一日だと友人から聞きました。満月の夜にちなんで丸いものに縁起をかつぎ、一家団欒、家族円満を願って白くて丸いお団子を食べるそうです。他にも灯籠節、上元節とも呼ばれていて、夜になると多くの都市では灯籠祭を催し、色とりどりの美しい灯籠を飾りつけます。丁度この時期私は上海に旅行に行っていたので、上海市の観光地として有名な「豫園 Yu yuan」（よえん）の「2013年豫園巳年新春民俗灯籠フェスティバル」に行ってきました。



（豫園巳年新春民俗灯籠フェスティバル）

今年の干支である巳（蛇）をモチーフにした灯籠が豫園商城に設置されており、中には数十組の干支や現地の風習をテーマにした灯籠などが飾り付けられていて、中国ならではの春节の雰囲気を楽しむことができました。



（中の様子 様々な灯籠が飾られておりとても綺麗でした）

元宵节を迎えるとお正月のイベントは終わりを迎えます。そのため前日の夜にはもちろん花火や爆竹が盛大に打ち上げられるのですが、今年は例年に比べて花火や爆竹の消費量は少なかったようです。やはり問題となっている深刻な大気汚染が原因のようで、大気汚染の影響はここ太原でも感じます。遠くの建物がもやに包まれ霞んでしまう日や、強い風と共に砂嵐が巻き起こる日などもあります。なので、空気の状態がよくない日には外出を控え、外出時にはマスクを着用するなどして自身の体調管理に気を配り、3月からの新学期をしっかり迎えたいと思います。